

# NPOフォーラム・だより No.71

2015. 12. 20



## NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

### \*小高記念館、国登録有形文化財になりました！

千葉日報

2015年(平成27年) 11月21日(土曜日)

#### 登録有形文化財

建物は移築を進めた小高氏が水産事務所として活用。戦前に興議となったことを期に政治事務所となり、戦後の衆議院議員としての活躍も支えた。政界引退後は、小高氏がサトウハチローや白鳥省吾らと親交が深く詩人として活躍したことから、文化交流拠点となる。城山公園に

小高記念館は、大正初期に建てられた古川銀行(現在は千葉銀行に合併)鴨川支店を、後に鳩山一郎内閣の文部政務次官を務めた小高英郎氏が昭和初期に現在地へ移築。1階は元営業室の洋風内装で、2階は回り廊下と和室2間が並び、1階には、大正期の銀行金庫や欧州絵画も残る。

国の文化審議会の答申で20日、館山市館山の小高記念館が登録有形文化財(建造物)に登録された。館山湾にほど近い木造2階建ての旧銀行建築。上下窓を並べる洋風外観が港町の風情を彩り、国土の歴史的景観に寄与していると評価された。現在はNPO法人が地域文化発信拠点として活用しており、関係者は「さらなる地域文化振興を進めていきたい」と力を込める。(本文1面)

## 港町彩る洋風外観

館山 小高記念館

### 地域文化発信拠点に



国の登録有形文化財に選ばれた小高記念館  
館山市館山



国の登録有形文化財に選ばれた小高記念館の1階には、大正期の銀行金庫が残っている

小高氏が1997年に亡くなり一時閉館。時を経て2006年、地域の文化遺産を保存し街づくりを進めるNPO法人安房文化遺産フォーラムが事務局として使うことになった。その際、潮風で剥がれた外壁塗装を塗り直している。記念館の物が登録され喜ばしい。本来、一般公開は特定の曜日など、当然に良かった」と笑顔を見せた。

白く塗り直し、歴史的建造物を再生させた。同団体は戦国大名里見氏の城跡や館山海軍航空隊赤山地下壕(ごう)といった歴史・文化遺産の保存や活用を展開。そうした活動を通じて進める地域資源を生かした街づくりの拠点となっている。記念館は現在、潮風で再び剥がれてきた外壁塗装を塗り直している。記念館の物が登録され喜ばしい。本来、一般公開は特定の曜日など、当然に良かった」と笑顔を見せた。小高氏の息子で記念館を所有する小高英夫さん(73)は「父親から引き継いだ建

このたび、オーナーの小高英夫さんのご厚意により外壁塗装が施され、白亜の洋館がよみがえりました。これまで週に一度、記念館の当番をして維持管理に努めてくださった、酒井浩子さんと林久子さん、長い間にわたりご苦勞様でした。月曜日の開館はなくなりますが、今後とも皆様のお力添えをお願いいたします。

**\*青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会、文化財保護功労者受賞！**

**\*館山総合高校「観光の学び」**

2015.12.5 房日

房日新聞2015.11.29付

**館山**  
**海の幸誕生の家と記念碑保存する会**  
**文化財保護功労で表彰**

館山市の「青木繁（海の幸）誕生の家と記念碑を保存する会」（嶋田博保会長）が、県文化財保護委員会の創立50周年記念文化財保護功労者表彰を受賞した。千葉市内であった表彰式で表彰された。受賞者数は2人とさ団体だった。

同会は、青木繁が「海の幸」を創作した館山市布良の小谷家住宅、青木の没後50年記念で建てら

れた記念碑の保存、活用に向け、地元有志を中心に結成された。小谷家住宅は、同会の依頼した専門家による調査で、明治前期の貴重な建物であることが分かった。平成9年に市の文化財指定を受けた。

同会では修復、公開を目的として、全国の著名画家によるNPOと連携して基金を集め、保存に向けたふるさと納税制度

の整備にも尽力、こうした取り組みによって、同住宅は修理され、来春に公開される予定となっている。

同会の前身は、「青木繁《海の幸》記念碑を保存する会」。一時撤去の危機にあった記念碑が、地元の要望により市が保存することになったのを契機に、平成10年に地元有志で設立された団体で、現在も草刈りなど保

**文化財保護功労で表彰**

**海の幸誕生の家と記念碑保存する会**

**148人が「観光の学び」**  
1年生がNPOと協働で授業

県教委が進める「魅力ある県立高校づくり」の一環として、「観光の学び」に取り組んでいる館山総合高校（安田健治校長）でこのほど、これまでの学びを振り返る授業があった。1年生148



生徒の前で話すゲスト＝館山総合高

人がNPO法人安房文化遺産フォーラム（愛沢伸雄代表）との協働で、校



受賞したメンバーら＝千葉市

市経済観光部プロモーションなど課の石井博臣課長と、房日新聞社の忍足利彦編集部長がゲストスピーカーとして、館山の観光について話した。

地元の観光資源をあらためて知ろうと、校外学習を展開。1年生はバス4台に分乗し、赤山地下壕、青木繁『海の幸』誕生の小谷家住宅、布良崎神社、大巖院のハンケル四面石塔、渚の駅などを見学した。NPOのガイドを受け、地元・館山の観光要素を現地で学んだ。

事前学習ではDVD「館山まるごと博物館」を語り、館山の魅力を伝えた。

仕上げの学習となった授業では、愛沢代表らがパワーポイントで生徒の感想を紹介。その後、ゲストとして石井課長が「館山市の観光の現状」、忍足次長が「幸せを生かして田舎暮らし」などを語り、館山の魅力を伝えた。

文化財保護、活用の取り組みが評価された。

ねた。現地では詳しい説明も受けた。生徒らは「何もないと思っていたが、館山に深い歴史があって驚いた」「こんなに素晴らしい観光資源を多くの人に知ってもらいたい」「市民が文化財を大切にしていることに感動した」などの感想を残している。

**★ 御祝 & 応援のぼり旗を作りました。**

来春の小谷家公開に向けて、地域を盛り上げましょう！  
引き続き、瓦プロジェクト・館山市ふるさと納税のご寄付もお願いいたします。

**◆ ツアーガイド&講演のスケジュール**

\* 赤山地下壕ガイドサービス 1月10日（日）9:30～12:00  
(年末年始の休業日＝12月29日～1月3日)

- 2月6日（土）10:15～16:30 民医連・健和会看護部 48名＝座学・赤山・かにた村
- 2月7日（日）9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 2月8・9日（月火）JR東労組 40名＝座学・赤山・かにた村・掩体・上陸地
- 2月17日（水）新婦人群馬支部 25名

**房の細道・あわ俳枕「秋の部」** .. NPO会員の入賞作品 ..

- \* 特選 灯台は天の日時計鳥渡る（野島崎） 石崎和夫
- \* 準特選 炎上の城跡の黙曼珠沙華（岡本城跡） 小形博子
- 磯菊や軍靴の響き地底より（平砂浦） 長田敬子
- 直垂の真魚箸きらと菊日和（包丁式） 石崎和夫
- \* 秀選 木槿咲き四海平和の諺文碑（大巖院） 石崎和夫

**大村智先生** NPO法人青木繁「海の幸」会理事長

**祝 ノーベル賞・文化勲章**

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会  
NPO法人安房文化遺産フォーラム